

令和8年度 導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧(収益性向上対策(飼料増産優先枠、省エネ優先枠を除く))

飼養区分	導入の必要性	成果目標の種類	成果目標の算定根拠(現状値・目標値)						○が付いている区分が当該「導入の必要性」で要望できる機械装置の区分ですが、具体的に要望できる機械装置は「対象機械装置一覧(令和5年1月19日現在:未定稿)」を参照してください																				
			【参考】とある項目は現状値・目標値の算定には使用しませんが参考として入力して下さい						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
			算定根拠	現状値・目標値の①の値と単位	現状値・目標値の②の値と単位	現状値・目標値の③の値と単位	現状値 目録値 イ 算式	現状値 目録値 ロ 算式	飼料給与 関係機械 装置	畜舎温度 制御機械 装置	省エネ・電 力安定供 給のため の機械装 置	家畜飼養 管理機械 装置	搾乳関係 機械装置	衛生管理 高度化機 械装置	畜産物管 理・加工 機械装置	飼料播 種・追播 用機械装 置	飼料取 種・調製 用機械装 置	その他飼 料生産関 係機械装 置	スマート農 業関連機 械装置	草地等管 理用機械 装置	飼料調製 用機械装 置	飼料用米 調製用機 械装置	放牧関連 機械装置	飼料保管 装置	エコフィ ード調製 給与関係 装置	堆肥調製 散布関係 機械装置	畜産・酪 農関係機 械に要す る動力源	その他 (知事特 認関係)	
酪農	1 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(生乳) 農業所得・営業利益	kg/年(生乳年間出荷数量)【参考】 円(農業所得・営業利益)	円/年(生乳販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(経産牛年間平均飼養頭数) ①	- ②÷③	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	2 受胎率の向上による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(生乳) 農業所得・営業利益	kg/年(生乳年間出荷数量)【参考】 円(農業所得・営業利益)	円/年(生乳販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(経産牛年間平均飼養頭数) ①	- ②÷③	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	3 事故率の低減による出荷数量又は販売額の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(生乳) 農業所得・営業利益	kg/年(生乳年間出荷数量)【参考】 円(農業所得・営業利益)	円/年(生乳販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(経産牛年間平均飼養頭数) ①	- ②÷③	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	4 堆肥の生産効率の改善	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(堆肥) 農業所得・営業利益	t/年(堆肥年間販売数量)【参考】 円(農業所得・営業利益)	円/年(堆肥販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(経産牛年間平均飼養頭数) ①	- ②÷③																		■			○	
	5 6次化による加工品の販売量又は販売額の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(加工品) 農業所得・営業利益	- 円(農業所得・営業利益)	円/年(加工品販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(経産牛年間平均飼養頭数) ①	- ②÷③								○													○	
	6 1頭当たり乳量の増加による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(生乳) 農業所得・営業利益	kg/年(生乳年間出荷数量)【参考】 円(農業所得・営業利益)	円/年(生乳販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(経産牛年間平均飼養頭数) ①	- ②÷③	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7 乳質改善による販売額の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(生乳) 農業所得・営業利益	kg/年(生乳年間出荷数量)【参考】 円(農業所得・営業利益)	円/年(生乳販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(経産牛年間平均飼養頭数) ①	- ②÷③	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)	①×②	-	○																				○	○
	9 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)	①×②	-	○			○																	○	○
	10 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)	①×②	-				○																	○	○
	11 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)	①×②	-																			○	○	○	○
	12 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年(光熱・動力費)		①	-		○	○											○							○	○
	13 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年(光熱・動力費)		①	-		○	○											○							○	○
	14 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減	衛生費	円/年(衛生費)		①	-		○			○																○	○
	15 自給飼料の生産又は利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年(購入粗飼料量)	円/kg(単価)	①×②	-	○	○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	16 自給飼料の生産又は利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)	①×②	-	○	○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	17 国産飼料の利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年(購入粗飼料量)	円/kg(単価)	①×②	-	○	○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	18 放牧頭数又は面積の拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年(総飼料費)		①	-															○						○	○
	19 エコフィードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年(総飼料費)		①	-		○	○																		○	○
	20 搾乳作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)	①×②	-				○																	○	○
	21 新規に畜産業に取り組むため	※1						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■は以下の機械装置のみ
・堆肥造粒機
・堆肥袋詰め機
・コンベア
・秤量機

令和8年度 導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧(収益性向上対策(飼料増産優先枠、省エネ優先枠を除く))

飼養区分	導入の必要性	成果目標の種類	成果目標の算定根拠(現状値・目標値) 【参考】とある項目は現状値・目標値の算定には使用しませんが参考として入力して下さい						○が付いている区分が当該「導入の必要性」で要望できる機械装置の区分ですが、具体的に要望できる機械装置は「対象機械装置一覧(令和5年1月19日現在:未定稿)」を参照してください																					
			算定根拠	現状値・目標値の①の値と単位	現状値・目標値の②の値と単位	現状値・目標値の③の値と単位	現状値 目録値 イ 算式	現状値 目録値 ロ 算式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
									飼料給与 関係機械 装置	畜舎温度 制御機械 装置	省エネ・電 力安定供 給のため の機械装 置	家畜飼養 管理機械 装置	搾乳関係 機械装置	衛生管理 高度化機 械装置	畜産物管 理・加工 機械装置	飼料播 種・追播 用機械装 置	飼料取 種・調製 用機械装 置	その他飼 料生産関 係機械装 置	スマート農 業関連機 械装置	草地等管 理用機械 装置	飼料調製 用機械装 置	飼料用米 調製用機 械装置	放牧関連 機械装置	飼料保管 装置	エコフィ ード調製・ 給与関係 装置	堆肥調製 散布関係 機械装置	畜産・酪 農関係機 械に要す る動力源	その他 (知事特 認関係)		
肉用牛 (肥育)	1 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(肥育牛) 農業所得・営業利益	頭/年(肥育牛年間販売頭数) 円(農業所得・営業利益)	円/年(肥育牛販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(肥育牛年間平均飼養頭数) ②÷①	②÷③ ①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	2 受胎率の向上による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(肥育牛) 農業所得・営業利益	頭/年(肥育牛年間販売頭数) 円(農業所得・営業利益)	円/年(肥育牛販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(肥育牛年間平均飼養頭数) ②÷①	②÷③ ①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	3 事故率の低減による出荷数量又は販売額の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(肥育牛) 農業所得・営業利益	頭/年(肥育牛年間販売頭数) 円(農業所得・営業利益)	円/年(肥育牛販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(肥育牛年間平均飼養頭数) ②÷①	②÷③ ①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	4 堆肥の生産効率の改善	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(堆肥) 農業所得・営業利益	t/年(堆肥年間販売数量)【参考】 円(農業所得・営業利益)	円/年(堆肥販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(肥育牛年間平均飼養頭数) -	②÷③ ①																			■				
	5 6次化による加工品の販売量又は販売額の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(加工品) 農業所得・営業利益	- 円(農業所得・営業利益)	円/年(加工品販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(肥育牛年間平均飼養頭数) -	②÷③ ①																							
	6 1頭当たり肉量の増加による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(肥育牛) 農業所得・営業利益	頭/年(肥育牛年間販売頭数) 円(農業所得・営業利益)	円/年(肥育牛販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(肥育牛年間平均飼養頭数) ②÷①	②÷③ ①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	7 肉質向上による販売額の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(肥育牛) 農業所得・営業利益	頭/年(肥育牛年間販売頭数) 円(農業所得・営業利益)	円/年(肥育牛販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(肥育牛年間平均飼養頭数) ②÷①	②÷③ ①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	8 飼養期間短縮による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(肥育牛) 農業所得・営業利益	頭/年(肥育牛年間販売頭数) 円(農業所得・営業利益)	円/年(肥育牛販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(肥育牛年間平均飼養頭数) ②÷①	②÷③ ①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)	①×②	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	10 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)	①×②	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	11 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)	①×②	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	12 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)	①×②	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	13 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年(光熱・動力費)		①	-		○	○								○												
	14 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年(光熱・動力費)		①	-		○	○								○												
	15 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減	衛生費	円/年(衛生費)		①	-		○	○				○																
	16 自給飼料の生産又は利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年(購入粗飼料量)	円/kg(単価)	①×②	-	○	○								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	17 自給飼料の生産又は利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)	①×②	-	○	○								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	18 国産飼料の利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年(購入粗飼料量)	円/kg(単価)	①×②	-	○	○								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	19 放牧頭数又は面積の拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年(総飼料費)		①	-																							
	20 エコフィードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年(総飼料費)		①	-		○	○																				
	21 稲わら(飼料用)の利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年(総飼料費)		①	-																							
	22 新規に畜産業に取り組むため	※1							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

■は以下の機械装置のみ
・堆肥造粒機
・堆肥袋詰め機
・コンベア
・秤量機

令和8年度 導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧(収益性向上対策(飼料増産優先枠、省エネ優先枠を除く))

飼養区分	導入の必要性	成果目標の種類	成果目標の算定根拠(現状値・目標値)						○が付いている区分が当該「導入の必要性」で要望できる機械装置の区分ですが、具体的に要望できる機械装置は「対象機械装置一覧(令和5年1月19日現在:未定稿)」を参照してください 【参考】とある項目は現状値・目標値の算定には使用しませんが参考として入力して下さい																				
			算定根拠	現状値・目標値の①の値と単位	現状値・目標値の②の値と単位	現状値・目標値の③の値と単位	現状値 目録値 イ 算式	現状値 目録値 ロ 算式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
									飼料給与 関係機械 装置	畜舎温度 制御機械 装置	省エネ・電 力安定供 給のため の機械装 置	家畜飼養 管理機械 装置	搾乳関係 機械装置	衛生管理 高度化機 械装置	畜産物管 理・加工 機械装置	飼料播 種・追播 用機械装 置	飼料取 種・調製 用機械装 置	その他飼 料生産関 係機械装 置	スマート農 業関連機 械装置	草地等管 理用機械 装置	飼料調製 用機械装 置	飼料用米 調製用機 械装置	放牧関連 機械装置	飼料保管 装置	エコフィ ード調製 給与関係 装置	堆肥調製 散布関係 機械装置	畜産・酪 農関係機 械に要す る動力源	その他 (知事特 認関係)	
肉用牛 (一貫)	1 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(肥育牛)	頭/年(肥育牛年間販売頭数)	円/年(肥育牛販売総額)	頭(肥育牛年間平均飼養頭数)	②÷①	②÷③	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	2 受胎率の向上による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(肥育牛)	頭/年(肥育牛年間販売頭数)	円/年(肥育牛販売総額)	頭(肥育牛年間平均飼養頭数)	②÷①	②÷③	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	3 事故率の低減による出荷数量又は販売額の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(肥育牛)	頭/年(肥育牛年間販売頭数)	円/年(肥育牛販売総額)	頭(肥育牛年間平均飼養頭数)	②÷①	②÷③	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4 堆肥の生産効率の改善	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(堆肥)	t/年(堆肥年間販売数量)【参考】	円/年(堆肥販売総額)	頭(肥育牛年間平均飼養頭数)	-	②÷③																					
	5 6次化による加工品の販売量又は販売額の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(加工品)	-	円/年(加工品販売総額)	頭(肥育牛年間平均飼養頭数)	-	②÷③																					
	6 1頭当たり肉量の増加による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(肥育牛)	頭/年(肥育牛年間販売頭数)	円/年(肥育牛販売総額)	頭(肥育牛年間平均飼養頭数)	②÷①	②÷③	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7 肉質向上による販売額の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(肥育牛)	頭/年(肥育牛年間販売頭数)	円/年(肥育牛販売総額)	頭(肥育牛年間平均飼養頭数)	②÷①	②÷③	○	○	○																		
	8 飼養期間短縮による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(肥育牛)	頭/年(肥育牛年間販売頭数)	円/年(肥育牛販売総額)	頭(肥育牛年間平均飼養頭数)	②÷①	②÷③	○	○	○																		
	9 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)		①×②	-	○																				
	10 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)		①×②	-	○			○																	
	11 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)		①×②	-				○																	
	12 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)		①×②	-																					
	13 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年(光熱・動力費)			①	-		○	○								○										
	14 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年(光熱・動力費)			①	-		○									○										
	15 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減	衛生費	円/年(衛生費)			①	-		○			○																
	16 自給飼料の生産又は利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年(購入粗飼料量)	円/kg(単価)		①×②	-	○	○																			
	17 自給飼料の生産又は利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)		①×②	-	○																				
	18 国産飼料の利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年(購入粗飼料量)	円/kg(単価)		①×②	-	○	○																			
	19 放牧頭数又は面積の拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年(総飼料費)			①	-																					
	20 エコフィードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年(総飼料費)			①	-		○	○																		
	21 稲わら(飼料用)の利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年(総飼料費)			①	-																					
	22 新規に畜産業に取り組むため	※1							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■は以下の機械装置のみ
・堆肥造粒機
・堆肥袋詰め機
・コンベア
・秤量機

令和8年度 導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧(収益性向上対策(飼料増産優先枠、省エネ優先枠を除く))

飼養区分	導入の必要性	成果目標の種類	成果目標の算定根拠(現状値・目標値) 【参考】とある項目は現状値・目標値の算定には使用しませんが参考として入力して下さい						○が付いている区分が当該「導入の必要性」で要望できる機械装置の区分ですが、具体的に要望できる機械装置は「対象機械装置一覧(令和5年1月19日現在:未定稿)」を参照してください																				
			算定根拠	現状値・目標値の①の値と単位	現状値・目標値の②の値と単位	現状値・目標値の③の値と単位	現状値 目録値 イ 算式	現状値 目録値 ロ 算式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
									飼料給与 関係機械 装置	畜舎温度 制御機械 装置	省エネ・電 力安定供 給のため の機械装 置	家畜飼養 管理機械 装置	搾乳関係 機械装置	衛生管理 高度化機 械装置	畜産物管 理・加工 機械装置	飼料播 種・追播 用機械装 置	飼料取 種・調製 用機械装 置	その他飼 料生産関 係機械装 置	スマート農 業関連機 械装置	草地等管 理用機械 装置	飼料調製 用機械装 置	飼料用米 調製用機 械装置	放牧関連 機械装置	飼料保管 装置	エコフィ ード調製 給与関係 装置	堆肥調製 散布関係 機械装置	畜産・酪 農関係機 械に要す る動力源	その他 (知事特 認関係)	
肉用牛 (繁殖)	1 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(子牛) 農業所得・営業利益	頭/年(子牛年間販売頭数) 円(農業所得・営業利益)	円/年(子牛販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(成雌牛年間平均飼養頭数) ②÷①	②÷③ -	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	2 受胎率の向上による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(子牛) 農業所得・営業利益	頭/年(子牛年間販売頭数) 円(農業所得・営業利益)	円/年(子牛販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(成雌牛年間平均飼養頭数) ②÷①	②÷③ -	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	3 事故率の低減による出荷数量又は販売額の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(子牛) 農業所得・営業利益	頭/年(子牛年間販売頭数) 円(農業所得・営業利益)	円/年(子牛販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(成雌牛年間平均飼養頭数) ②÷①	②÷③ -	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	4 堆肥の生産効率の改善	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(堆肥) 農業所得・営業利益	t/年(堆肥年間販売数量)【参考】 円(農業所得・営業利益)	円/年(堆肥販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(成雌牛年間平均飼養頭数) -	②÷③ -																						
	5 6次化による加工品の販売量又は販売額の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(加工品) 農業所得・営業利益	- 円(農業所得・営業利益)	円/年(加工品販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(成雌牛年間平均飼養頭数) -	②÷③ -																						
	6 1頭当たりの日増体重の増加による出荷数量又は販売額の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(子牛) 農業所得・営業利益	頭/年(子牛年間販売頭数) 円(農業所得・営業利益)	円/年(子牛販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(成雌牛年間平均飼養頭数) ②÷①	②÷③ -	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7 肉質向上による販売額の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(子牛) 農業所得・営業利益	頭/年(子牛年間販売頭数) 円(農業所得・営業利益)	円/年(子牛販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(成雌牛年間平均飼養頭数) ②÷①	②÷③ -	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8 飼養期間短縮による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(子牛) 農業所得・営業利益	頭/年(子牛年間販売頭数) 円(農業所得・営業利益)	円/年(子牛販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(成雌牛年間平均飼養頭数) ②÷①	②÷③ -	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)	①×②	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)	①×②	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)	①×②	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)	①×②	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	13 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年(光熱・動力費)		①	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	14 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年(光熱・動力費)		①	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	15 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減	衛生費	円/年(衛生費)		①	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	16 自給飼料の生産又は利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年(購入粗飼料量)	円/kg(単価)	①×②	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	17 自給飼料の生産又は利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)	①×②	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	18 国産飼料の利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年(購入粗飼料量)	円/kg(単価)	①×②	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	19 放牧頭数又は面積の拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年(総飼料費)		①	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	20 エコフィードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年(総飼料費)		①	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	21 稲わら(飼料用)の利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年(総飼料費)		①	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	22 新規に畜産業に取り組むため	※1						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■は以下の機械装置のみ
・堆肥造粒機
・堆肥袋詰め機
・コンベア
・秤量機

令和8年度 導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧(収益性向上対策(飼料増産優先枠、省エネ優先枠を除く))

飼養区分	導入の必要性	成果目標の種類	成果目標の算定根拠(現状値・目標値) 【参考】とある項目は現状値・目標値の算定には使用しませんが参考として入力して下さい						○が付いている区分が当該「導入の必要性」で要望できる機械装置の区分ですが、具体的に要望できる機械装置は「対象機械装置一覧(令和5年1月19日現在:未定稿)」を参照してください																			
			算定根拠	現状値・目標値の①の値と単位	現状値・目標値の②の値と単位	現状値・目標値の③の値と単位	現状値 目録値 イ 算式	現状値 目録値 ロ 算式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
									飼料給与 関係機械 装置	畜舎温度 制御機械 装置	省エネ・電 力安定供 給のため の機械装 置	家畜飼養 管理機械 装置	搾乳関係 機械装置	衛生管理 高度化機 械装置	畜産物管 理・加工 機械装置	飼料播 種・追播 用機械装 置	飼料取 種・調製 用機械装 置	その他飼 料生産関 係機械装 置	スマート農 業関連機 械装置	草地等管 理用機械 装置	飼料調製 用機械装 置	飼料用米 調製用機 械装置	放牧関連 機械装置	飼料保管 装置	エコフィ ード調製 給与関係 装置	堆肥調製 散布関係 機械装置	畜産・酪 農関係機 械に要す る動力源	その他 (知事特 認関係)
養豚	1 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(肉豚) 農業所得・営業利益	頭/年(肉豚年間販売頭数) 円(農業所得・営業利益)	円/年(肉豚販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(種雌豚年間平均飼養頭数) ②÷①	②÷③ -	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 受胎率の向上による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(肉豚) 農業所得・営業利益	頭/年(肉豚年間販売頭数) 円(農業所得・営業利益)	円/年(肉豚販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(種雌豚年間平均飼養頭数) ②÷①	②÷③ -	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 事故率の低減による出荷数量又は販売額の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(肉豚) 農業所得・営業利益	頭/年(肉豚年間販売頭数) 円(農業所得・営業利益)	円/年(肉豚販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(種雌豚年間平均飼養頭数) ②÷①	②÷③ -	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4 堆肥の生産効率の改善	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(堆肥) 農業所得・営業利益	t/年(堆肥年間販売数量)【参考】 円(農業所得・営業利益)	円/年(堆肥販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(種雌豚年間平均飼養頭数) -	②÷③ -																					
	5 6次化による加工品の販売量又は販売額の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(加工品) 農業所得・営業利益	- 円(農業所得・営業利益)	円/年(加工品販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(種雌豚年間平均飼養頭数) -	②÷③ -							○														
	6 母豚1頭当たりの出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(肉豚) 農業所得・営業利益	頭/年(肉豚年間販売頭数) 円(農業所得・営業利益)	円/年(肉豚販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(種雌豚年間平均飼養頭数) ②÷①	②÷③ -	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)	①×②	-	○																				
	8 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)	①×②	-	○			○																	
	9 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)	①×②	-				○																	
	10 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)	①×②	-																					
	11 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年(光熱・動力費)		①	-			○	○							○										
	12 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年(光熱・動力費)		①	-			○	○							○										
	13 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減	衛生費	円/年(衛生費)		①	-						○															
	14 自給飼料の生産又は利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年(購入粗飼料量)	円/kg(単価)	①×②	-	○	○									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	15 自給飼料の生産又は利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)	①×②	-	○										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	16 国産飼料の利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年(購入粗飼料量)	円/kg(単価)	①×②	-	○	○									○										
	17 放牧頭数又は面積の拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年(総飼料費)		①	-															○						
	18 エコフィードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年(総飼料費)		①	-			○	○																	
	19 新規に畜産業に取り組むため	※1						○	○	○	○																	

■は以下の機械装置のみ
・堆肥造粒機
・堆肥袋詰め機
・コンベア
・秤量機

令和8年度 導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧(収益性向上対策(飼料増産優先枠、省エネ優先枠を除く))

飼養区分	導入の必要性	成果目標の種類	成果目標の算定根拠(現状値・目標値)						○が付いている区分が当該「導入の必要性」で要望できる機械装置の区分ですが、具体的に要望できる機械装置は「対象機械装置一覧(令和5年1月19日現在:未定稿)」を参照してください																					
			【参考】とある項目は現状値・目標値の算定には使用しませんが参考として入力して下さい						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
			算定根拠	現状値・目標値の①の値と単位	現状値・目標値の②の値と単位	現状値・目標値の③の値と単位	現状値 目標値 イ 算式	現状値 目標値 ロ 算式	飼料給与 関係機械 装置	畜舎温度 制御機械 装置	省エネ・電 力安定供 給のため の機械装 置	家畜飼養 管理機械 装置	搾乳関係 機械装置	衛生管理 高度化機 械装置	畜産物管 理・加工 機械装置	飼料播 種・追播 用機械装 置	飼料取 種・調製 用機械装 置	その他飼 料生産関 係機械装 置	スマート農 業関連機 械装置	草地等管 理用機械 装置	飼料調製 用機械装 置	飼料用米 調製用機 械装置	放牧関連 機械装置	飼料保管 装置	エコフィ ード調製 給与関係 装置	堆肥調製 散布関係 機械装置	畜産・酪 農関係機 械に要す る動力源	その他 (知事特 認関係)		
採卵鶏	1 分焼間隔の短縮による出荷数量の増	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加	販売額(卵)	kg/年(鶏卵年間販売量)【参考】	円/年(鶏卵販売総額)	羽(成鶏年間平均飼養羽数)	-	(2)÷(3)×1000	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	農業所得・営業利益	円(農業所得・営業利益)	※参加申請時に根拠資料を提出			①	-																					
	2 受胎率の向上による出荷数量の増	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加	販売額(卵)	kg/年(鶏卵年間販売量)【参考】	円/年(鶏卵販売総額)	羽(成鶏年間平均飼養羽数)	-	(2)÷(3)×1000	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	農業所得・営業利益	円(農業所得・営業利益)	※参加申請時に根拠資料を提出			①	-																					
	3 事故率の低減による出荷数量又は販売額の増	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加	販売額(卵)	kg/年(鶏卵年間販売量)【参考】	円/年(鶏卵販売総額)	羽(成鶏年間平均飼養羽数)	-	(2)÷(3)×1000	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	農業所得・営業利益	円(農業所得・営業利益)	※参加申請時に根拠資料を提出			①	-																					
	4 堆肥の生産効率の改善	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加	販売額(堆肥)	t/年(堆肥年間販売数量)【参考】	円/年(堆肥販売総額)	羽(成鶏年間平均飼養羽数)	-	(2)÷(3)×1000																		■				
		農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	農業所得・営業利益	円(農業所得・営業利益)	※参加申請時に根拠資料を提出			①	-																					
	5 畜産物管理の効率化による出荷数量(販売量)又は販売額の増	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加	販売額(卵)	-	円/年(鶏卵販売総額)	羽(成鶏年間平均飼養羽数)	-	(2)÷(3)×1000							○															
		農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	農業所得・営業利益	円(農業所得・営業利益)	※参加申請時に根拠資料を提出			①	-																					
	6 6次化による加工品の販売量又は販売額の増	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加	販売額(加工品)	-	円/年(加工品販売総額)	羽(成鶏年間平均飼養羽数)	-	(2)÷(3)×1000								○														
		農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	農業所得・営業利益	円(農業所得・営業利益)	※参加申請時に根拠資料を提出			①	-																					
	7 採卵率の向上による出荷数量の増	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加	販売額(卵)	kg/年(鶏卵年間販売量)【参考】	円/年(鶏卵販売総額)	羽(成鶏年間平均飼養羽数)	-	(2)÷(3)×1000	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	農業所得・営業利益	円(農業所得・営業利益)	※参加申請時に根拠資料を提出			①	-																					
	8 死廃率の低下	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加	販売額(卵)	kg/年(鶏卵年間販売量)【参考】	円/年(鶏卵販売総額)	羽(成鶏年間平均飼養羽数)	-	(2)÷(3)×1000			○	○				○														
		農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	農業所得・営業利益	円(農業所得・営業利益)	※参加申請時に根拠資料を提出			①	-																					
	9 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)		①×②	-	○																					
	10 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)		①×②	-	○			○																		
	11 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)		①×②	-				○																		
	12 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)		①×②	-																		○				
	13 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年(光熱・動力費)			①	-			○	○							○											
	14 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年(光熱・動力費)			①	-			○	○							○											
15 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減	衛生費	円/年(衛生費)			①	-			○	○			○																
16 自給飼料の生産又は利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年(購入粗飼料量)	円/kg(単価)		①×②	-	○	○											○			○		○		○			
17 自給飼料の生産又は利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)		①×②	-	○													○			○		○		○		
18 国産飼料の利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年(購入粗飼料量)	円/kg(単価)		①×②	-	○	○												○			○		○		○		
19 エコフィードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年(総飼料費)			①	-			○	○																			
20 集卵作業の効率化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)		①×②	-				○			○																
21 検卵・選卵作業の効率化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)		①×②	-				○			○																
22 新規に畜産業に取り組むため	※1							○	○	○	○																			

■は以下の機械装置のみ
 ・堆肥造粒機
 ・堆肥袋詰め機
 ・コンベア
 ・秤量機

令和8年度 導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧(収益性向上対策(飼料増産優先枠、省エネ優先枠を除く))

飼養区分	導入の必要性	成果目標の種類	成果目標の算定根拠(現状値・目標値)						○が付いている区分が当該「導入の必要性」で要望できる機械装置の区分ですが、具体的に要望できる機械装置は「対象機械装置一覧(令和5年1月19日現在:未定稿)」を参照してください 【参考】とある項目は現状値・目標値の算定には使用しませんが参考として入力して下さい																				
			算定根拠	現状値・目標値の①の値と単位	現状値・目標値の②の値と単位	現状値・目標値の③の値と単位	現状値 目録値 イ 算式	現状値 目録値 ロ 算式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
									飼料給与 関係機械 装置	畜舎温度 制御機械 装置	省エネ・電 力安定供 給のため の機械装 置	家畜飼養 管理機械 装置	搾乳関係 機械装置	衛生管理 高度化機 械装置	畜産物管 理・加工 機械装置	飼料播 種・追播 用機械装 置	飼料取 種・調製 用機械装 置	その他飼 料生産関 係機械装 置	スマート農 業関連機 械装置	草地等管 理用機械 装置	飼料調製 用機械装 置	飼料用米 調製用機 械装置	放牧関連 機械装置	飼料保管 装置	エコフィ ード調製・ 給与関係 装置	堆肥調製 散布関係 機械装置	畜産・酪 農関係機 械に要す る動力源	その他 (知事特 認関係)	
ブ ロ イ ラー	1 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加	販売額(肉鶏)	羽/年(肉鶏年間販売羽数)	円/年(肉鶏販売総額)	羽(肉鶏年間平均飼養羽数)	$\frac{(2) \div (1) \times 1000}{(3) \times 1000}$	$\frac{(2) \div (3) \times 1000}{(1) \times 1000}$	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	2 受胎率の向上による出荷数量の増	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加	販売額(肉鶏)	羽/年(肉鶏年間販売羽数)	円/年(肉鶏販売総額)	羽(肉鶏年間平均飼養羽数)	$\frac{(2) \div (1) \times 1000}{(3) \times 1000}$	$\frac{(2) \div (3) \times 1000}{(1) \times 1000}$	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	3 事故率の低減による出荷数量又は販売額の増	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加	販売額(肉鶏)	羽/年(肉鶏年間販売羽数)	円/年(肉鶏販売総額)	羽(肉鶏年間平均飼養羽数)	$\frac{(2) \div (1) \times 1000}{(3) \times 1000}$	$\frac{(2) \div (3) \times 1000}{(1) \times 1000}$	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	4 堆肥の生産効率の改善	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加	販売額(堆肥)	t/年(堆肥年間販売数量)【参考】	円/年(堆肥販売総額)	羽(肉鶏年間平均飼養羽数)	-	$\frac{(2) \div (3) \times 1000}{(1) \times 1000}$																					
	5 6次化による加工品の販売量又は販売額の増	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加	販売額(加工品)	-	円/年(加工品販売総額)	羽(肉鶏年間平均飼養羽数)	-	$\frac{(2) \div (3) \times 1000}{(1) \times 1000}$																					
	6 育成率の向上による出荷数量の増	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加	販売額(肉鶏)	羽/年(肉鶏年間販売羽数)	円/年(肉鶏販売総額)	羽(肉鶏年間平均飼養羽数)	$\frac{(2) \div (1) \times 1000}{(3) \times 1000}$	$\frac{(2) \div (3) \times 1000}{(1) \times 1000}$	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)		1×2	-	○																				
	8 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)		1×2	-	○			○																	
	9 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)		1×2	-				○																	
	10 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)		1×2	-																					
	11 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年(光熱・動力費)			1	-		○	○								○										
	12 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年(光熱・動力費)			1	-		○	○								○										
	13 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減	衛生費	円/年(衛生費)			1	-		○	○		○																
	14 自給飼料の生産又は利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年(購入粗飼料量)	円/kg(単価)		1×2	-	○	○												○		○		○	○	○	
	15 自給飼料の生産又は利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)		1×2	-	○	○												○		○		○	○	○	
	16 国産飼料の利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年(購入粗飼料量)	円/kg(単価)		1×2	-	○	○												○		○		○	○	○	
	17 エコフィードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年(総飼料費)			1	-		○	○															○	○	○	
	18 新規に畜産業に取り組むため	※1						-	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

■は以下の機械装置のみ
・堆肥造粒機
・堆肥袋詰め機
・コンベア
・秤量機

令和8年度 導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧(収益性向上対策(飼料増産優先枠、省エネ優先枠を除く))

飼養区分	導入の必要性	成果目標の種類	成果目標の算定根拠(現状値・目標値) 【参考】とある項目は現状値・目標値の算定には使用しませんが参考として入力して下さい						○が付いている区分が当該「導入の必要性」で要望できる機械装置の区分ですが、具体的に要望できる機械装置は「対象機械装置一覧(令和5年1月19日現在:未定稿)」を参照してください																				
			算定根拠	現状値・目標値の①の値と単位	現状値・目標値の②の値と単位	現状値・目標値の③の値と単位	現状値 目録値 イ 算式	現状値 目録値 ロ 算式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
									飼料給与 関係機械 装置	畜舎温度 制御機械 装置	省エネ・電 力安定供 給のため の機械装 置	家畜飼養 管理機械 装置	搾乳関係 機械装置	衛生管理 高度化機 械装置	畜産物管 理・加工 機械装置	飼料播 種・追播 用機械装 置	飼料取 種・調製 用機械装 置	その他飼 料生産関 係機械装 置	スマート農 業関連機 械装置	草地等管 理用機械 装置	飼料調製 用機械装 置	飼料用米 調製用機 械装置	放牧関連 機械装置	飼料保管 装置	エコフィ ード調製 給与関係 装置	堆肥調製 散布関係 機械装置	畜産・酪 農関係機 械に要す る動力源	その他 (知事特 認関係)	
その他の家畜(やぎ、めん羊、馬)	1 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(肉畜・乳) 農業所得・営業利益	頭/年(年間販売頭数) 円(農業所得・営業利益)	円/年(販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(年間平均飼養羽数)	②÷① ②÷③	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	2 受胎率の向上による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(肉畜・乳) 農業所得・営業利益	頭/年(年間販売頭数) 円(農業所得・営業利益)	円/年(販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(年間平均飼養羽数)	②÷① ②÷③	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	3 事故率の低減による出荷数量又は販売額の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(肉畜・乳) 農業所得・営業利益	頭/年(年間販売頭数) 円(農業所得・営業利益)	円/年(販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(年間平均飼養羽数)	②÷① ②÷③	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4 堆肥の生産効率の改善	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(堆肥) 農業所得・営業利益	t/年(堆肥年間販売数量)【参考】 円(農業所得・営業利益)	円/年(堆肥販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(年間平均飼養羽数)	- ②÷③																						
	5 6次化による加工品の販売量・販売額の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(加工品) 農業所得・営業利益	- 円(農業所得・営業利益)	円/年(加工品販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(年間平均飼養羽数)	- ②÷③																						
	6 1頭当たり肉量又は乳量増加による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(肉畜・乳) 農業所得・営業利益	頭/年(年間販売頭数) 円(農業所得・営業利益)	円/年(販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(年間平均飼養羽数)	②÷① ②÷③	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7 肉質又は乳質向上による販売額の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(肉畜・乳) 農業所得・営業利益	頭/年(年間販売頭数) 円(農業所得・営業利益)	円/年(販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	頭(年間平均飼養羽数)	②÷① ②÷③	○	○	○																			
	8 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)		①×②	○																					
	9 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)		①×②	○			○																		
	10 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)		①×②				○																		
	11 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)		①×②																						
	12 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年(光熱・動力費)			①		○	○									○										
	13 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年(光熱・動力費)			①			○									○										
	14 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減	衛生費	円/年(衛生費)			①			○			○																
	15 自給飼料の生産又は利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年(購入粗飼料量)	円/kg(単価)		①×②		○	○									○	○									
	16 自給飼料の生産又は利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)		①×②		○										○	○									
	17 国産飼料の利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年(購入粗飼料量)	円/kg(単価)		①×②		○	○									○	○									
	18 放牧頭数又は面積の拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年(総飼料費)			①																						
	19 エコフィードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年(総飼料費)			①			○																			
	20 新規に畜産業に取り組むため	※1							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■は以下の機械装置のみ
・堆肥造粒機
・堆肥袋詰め機
・コンベア
・秤量機

令和8年度 導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧(収益性向上対策(飼料増産優先枠、省エネ優先枠を除く))

飼養区分	導入の必要性	成果目標の種類	成果目標の算定根拠(現状値・目標値) 【参考】とある項目は現状値・目標値の算定には使用しませんが参考として入力して下さい						○が付いている区分が当該「導入の必要性」で要望できる機械装置の区分ですが、具体的に要望できる機械装置は「対象機械装置一覧(令和5年1月19日現在:未定稿)」を参照してください																				
			算定根拠	現状値・目標値の①の値と単位	現状値・目標値の②の値と単位	現状値・目標値の③の値と単位	現状値 目録値 イ 算式	現状値 目録値 ロ 算式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
									飼料給与 関係機械 装置	畜舎温度 制御機械 装置	省エネ・電 力安定供 給のため の機械装 置	家畜飼養 管理機械 装置	搾乳関係 機械装置	衛生管理 高度化機 械装置	畜産物管 理・加工 機械装置	飼料播 種・追播 用機械装 置	飼料取 種・調製 用機械装 置	その他飼 料生産関 係機械装 置	スマート農 業関連機 械装置	草地等管 理用機械 装置	飼料調製 用機械装 置	飼料用米 調製用機 械装置	放牧関連 機械装置	飼料保管 装置	エコフィ ード調製 給与関係 装置	堆肥調製 散布関係 機械装置	畜産・酪 農関係機 械に要す る動力源	その他 (知事特 認関係)	
その他家畜(合鴨・うずら)	1 分焼間隔の短縮による出荷数量の増	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(肉禽・卵) 農業所得・営業利益	羽/年(年間販売羽数) 円(農業所得・営業利益)	円/年(販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	羽(年間平均飼養羽数)	②÷① ②÷③	①	②	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	2 受胎率の向上による出荷数量の増	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(肉禽・卵) 農業所得・営業利益	羽/年(年間販売羽数) 円(農業所得・営業利益)	円/年(販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	羽(年間平均飼養羽数)	②÷① ②÷③	①	②	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 事故率の低減による出荷数量又は販売額の増	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(肉禽・卵) 農業所得・営業利益	羽/年(年間販売羽数) 円(農業所得・営業利益)	円/年(販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	羽(年間平均飼養羽数)	②÷① ②÷③	①	②	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4 堆肥の生産効率の改善	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(堆肥) 農業所得・営業利益	t/年(堆肥年間販売数量)【参考】 円(農業所得・営業利益)	円/年(堆肥販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	羽(年間平均飼養羽数)	- ②÷③	①	②																				
	5 6次化による加工品の販売量又は販売額の増	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(加工品) 農業所得・営業利益	- 円(農業所得・営業利益)	円/年(加工品販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	羽(年間平均飼養羽数)	- ②÷③	①	②																				
	6 育成率の向上による出荷数量の増	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額(肉禽・卵) 農業所得・営業利益	羽/年(年間販売羽数) 円(農業所得・営業利益)	円/年(販売総額) ※参加申請時に根拠資料を提出	羽(年間平均飼養羽数)	②÷① ②÷③	①	②	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)		①×②	-	①	②	○																		
	8 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)		①×②	-	①	②	○																		
	9 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)		①×②	-	①	②	○																		
	10 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)		①×②	-	①	②																			
	11 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年(光熱・動力費)			①	-	①	②																			
	12 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年(光熱・動力費)			①	-	①	②																			
	13 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減	衛生費	円/年(衛生費)			①	-	①	②																			
	14 自給飼料の生産又は利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年(購入粗飼料量)	円/kg(単価)		①×②	-	①	②	○	○																	
	15 自給飼料の生産又は利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年(労働費)	人(従事者数)		①×②	-	①	②	○																		
	16 国産飼料の利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年(購入粗飼料量)	円/kg(単価)		①×②	-	①	②	○	○																	
	17 エコフィードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年(総飼料費)			①	-	①	②																			
	18 新規に畜産業に取り組むため	※1									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■は以下の機械装置のみ
・堆肥造粒機
・堆肥袋詰め機
・コンベア
・秤量機

